



平成26年7月28日

各位

上場会社名 ホシザキ電機株式会社  
 代表者 代表取締役会長兼社長 坂本 精志  
 (コード番号 6465)  
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己  
 (TEL 0562-96-1320)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	108,800	11,400	11,700	6,800	94.10
今回修正予想(B)	117,450	15,200	14,550	8,750	121.07
増減額(B-A)	8,650	3,800	2,850	1,950	
増減率(%)	8.0	33.3	24.4	28.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	100,562	10,524	13,883	7,975	110.48

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	217,000	21,200	21,700	12,700	175.75
今回修正予想(B)	228,500	25,500	25,100	14,400	199.21
増減額(B-A)	11,500	4,300	3,400	1,700	
増減率(%)	5.3	20.3	15.7	13.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	205,513	20,052	26,349	15,769	218.37

### 修正の理由

#### 第2四半期累計期間及び通期業績予想数値の修正

当第2四半期連結累計期間は、国内では、段階的な景気回復基調に伴い主要販売先であるフードサービス産業において、設備投資が好調に推移いたしました。さらに第1四半期においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要も追い風となりました。

このような環境のなか、製氷機、業務用冷蔵庫等主力製品に加え、スチームコンベクションオープン等戦略製品の拡販並びに新規顧客の継続的な開拓を行いました。また消費税の駆け込み需要に対しては、適切な増産体制を敷くことで対応することができました。一方、第2四半期でその反動減を危惧しておりましたが、増税後の影響については当初想定よりも限定的でありました。

海外では、米国の景気回復により製氷機の販売が好調に推移したことに加え、欧州でも景気底打ちの傾向が見られ、主力製品の拡販に努めてまいりました。

また、国内、海外において原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減などを図り、利益の改善に努めてまいりました。

第3四半期以降は、国内におきましては、一昨年より好調に推移するフードサービス産業の設備投資の継続が不確定であることに加えて、海外におきましても新興国の経済成長の鈍化及び欧州の景気停滞継続等、マクロ経済の先行き不透明な状況が懸念されます。

上記を踏まえ、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

前回発表の予想では、業績見通しの前提となる主な通貨の為替レートにつきまして、1米ドル=100円、1ユーロ=130円と想定しておりましたが、通期業績予想においては、米ドルにつきましては1米ドル=100円で据え置き、ユーロにつきましては1ユーロ=138円へ修正いたしております。

当通期連結業績予想数値においては、営業外の為替差損益として、第2四半期累計期間で発生した為替差損10億円のみ計上しております(前年通期の営業外における為替差益計上額54億円)。

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する過程及び状況の変化等により、実績等が見通しの数値と異なることが有り得ますことをご承知おき下さい。

以 上